

シラバス情報の参照について

「◆シラバス（2023年度以降）」をクリックすると、「シラバス検索画面」が表示されます。
検索条件を設定後、「検索」ボタンをクリックします。

プルダウンメニュー入力

- ・年度
- ・学部/研究科
- ・学科/専攻
- ・学年

フリーワード入力

- ・講義名
- ・教職員氏名

シラバス検索

参照したいシラバスを検索してください。
一覧から科目を選択してください。

年度	2023年度 ▾
学部/研究科	経済学部 ▾
学科/専攻	経済学科 ▾
学年	2年 ▾
講義名	<input type="text"/>
教職員氏名	<input type="text"/>

「詳細検索+」では、曜日・時限などを用いた検索ができます。

重要：検索結果の表示最大件数 1000 件までです。超えると表示されません。
詳細検索等により絞り込み検索を行ってください。

「検索結果」が表示されます。

参照した講義の行をクリックすれば、詳細が表示されます。

検索結果内「絞り込み」にキーワード(フリーワード)を入力して、更に絞り込むこともできます。

検索結果		408 件中、 1 件目から 10 件目を表示		表示件数		10		件	
タイトル	カテゴリ	科目コード	ナンバリング	講義名	担当教員	学年	開講学期	曜日・時限	
2023年度	外) 英米学科	A0122092	-	International ...	ブルック・...	2年	2学期	月 2	
2023年度	外) 国際関...	A0322016	-	東南アジアの...	田村 慶子	2年	2学期	火 2	

絞り込み ? キーワード

選択した「シラバス」が表示されます。
ページ最後の「印刷」をクリックすれば、プリンター出力やPDF保存ができます。

科目情報

<
2 / 408件
>

科目名	東南アジアの政治と外交
講義名	東南アジアの政治と外交
実務経験のある教員による講義	-
学年	
キャンパス区分	北方
開講学期	2学期
開講時期	秋期
曜日・時限	火2
科目種別	講義科目
ナンバリング	-
科目区分	-
単位区分	-
単位数	-
準備事項	
備考	

講義情報

ディプロマポリシー・到達目標

項番	内容	対象	到達目標
DP1	知識	◎	東南アジアの政治と外交に関する専門的な知識を身につけている。
DP2	技能	○	東南アジアの政治と外交の理解に必要な情報を収集、分析することができる。
DP3	思考・判断・表現力	-	-
DP4	コミュニケーション力	-	-
DP5	自律的行動力	-	-

授業の概要

東南アジアについて政治と外交の側面から理解を深める視点として、この授業ではASEAN（東南アジア諸国連合）を中心に扱う。ASEANは、東南アジアにおける国境線がまだ流動的であった時代に、各国の内政と外交とが絡み合い生じた紛争を経て発足した。発足後のASEANは、発展途上の小国が自国の安全保障に大きく影響を与えうる地域全体の将来を、大国に翻弄されることなく自らの意志で方向づけようと不断に工夫を積み重ねる中で、アジア・太平洋地域で進展する地域統合の核を成す存在にまで発展した。こうしたASEANの歴史を見ることを通じて、東南アジアについて各国の政治と外交から理解を深めるとともに、地域秩序や国際秩序の構築において東南アジア諸国がどのように参画して来たかを理解する。

教科書

毎回講義資料を配布する。

参考書（図書館蔵書には○）

- 山影進『ASEAN—シンボルからシステムへ』東京大学出版会、1991年
- 山影進『ASEAN/太平洋の中核へ』東京大学出版会、1997年。
- 山影進『転換期のASEAN—新たな課題への挑戦』日本国際問題研究所、2001年。
- 山影進『新しいASEAN—地域共同体とアジアの中心性を旨して』アジア経済研究所、2012年。

次頁に続く

授業計画・内容

回数	授業計画	内容
第1回	イントロダクション	授業計画・成績評価の方法などの説明
第2回	東南アジアにおける国民国家の成立	19世紀末～1960年代初頭
第3回	東南アジアにおける地域協力の始まり	1945年～1960年
第4回	東南アジア連合（ASA）の成立と停滞	1961年～1963年
第5回	地域紛争の中で生まれた第2の地域協力機構	マフィリンド（Maphilindo）
第6回	各国の内政の変化と地域協力の模索の開始	1965年～1967年
第7回	ASEANの始動と変容	1967年～1976年
第8回	ベトナム戦争をめぐる主な出来事	1945年～1976年
第9回	ASEANのインドシナ問題への対処（1）	ベトナムからの国外脱出者への対応
第10回	ASEANのインドシナ問題への対処（2）	ベトナムのカンボジア侵攻とカンボジア和平への取り組み
第11回	ポスト冷戦期のASEAN	ASEANの拡大と経済協力の進展
第12回	アジア太平洋地域協力の核としてのASEAN	APEC、ARF、EAS
第13回	ASEAN憲章とASEAN共同体	2000年代～
第14回	ASEAN原加盟国の政治体制の変化	権威主義体制の溶解
第15回	日本と東南アジアとのつながり	EPA

成績評価の方法

小テスト（3回）...45% 期末試験...55%

小テスト実施日に欠席する／した場合、それがやむを得ない理由によることを証明する書類があれば、次の授業までに別途日時を設定して、追試を行うことが可能です。欠席が分かり次第、メールにて担当者にご連絡ください。追試はなるべく柔軟に対応していきます。

小テストおよび期末試験を1度も受けていない場合、評価不能(-)とします。

事前・事後学習の内容

小テストを3回実施する予定です。小テストの成績は成績評価全体の4割以上を占めます。日ごろの授業への取り組みがたいへん重要となります。

履修上の注意

東南アジア研究概論を受講したうえでこの授業を受講すると、この授業の理解がより深いものになります。

担当者からのメッセージ

キーワード

印刷